

※このメールマガジンはMSゴシック等の等幅フォントでご覧ください。

★もくじ★

- 〔1〕 1分で分かる姫路河川国道事務所の仕事「所長の一分メモ」
建設工事の安全対策
- 〔2〕 最近の道路関係事業のトピックス

〔1〕 所長の一分メモ file30
建設工事の安全対策

お世話になっております。姫路河川国道事務所長の中込です。
今回は建設工事の安全対策の話です。
建設工事を進めるにあたり安全対策は最も重要な事項です。特に重機を動かし大規模な構造物を作る建設工事にあっては、一つ間違えば人命につながったり、社会に大きな影響を及ぼす可能性も十分にあります。
国土交通省近畿地方整備局では、特に発生件数の多い「架空線、地下埋設管に対する事故」、「草刈りにおける飛び石事故」、「足場からの墜落」、「重機との接触事故」等にかかる対策を重点対策として位置づけ「事故ゼロ」を目指して様々な施策に取り組んでいるところです。
当事務所においても工事安全対策は十分に気を遣っており、大きく2つの取り組みを行っています。一つは「情報の共有」で、当事務所管内で事故が発生した場合、「緊急工事安全協議会」として工事監督職員、請負業者等、関係者全員に事務所に集まってもらい、事故の概要、事故後の対応等について情報共有しております。もう一つは「成果の見える化」です。関係者の行っている工事安全対策の成果として無事故日数をカウントし、節目々々で関係者に連絡させていただいております。

この無事故日数のカウントにつきましては、先週の11月18日に「100日」を達成しました。しかしながら残念なことに11月23日に揖保川の災害復旧工事でコンクリートカッターの刃が作業員の足に当たり全治1週間の怪我をされる事故が発生しました。
当事務所では2年前から無事故日数をカウントしていますが、いつもこの「100日」を越えたあたりで事故が発生し、改めてゼロからカウントし直すということを繰り返しています。今回も「100日達成」について当メールで紹介しようとしていた矢先の事故で大変残念なのですが、発生した事故についてしっかりと分析し、二度と同じような事故を発生させないことが重要だと思っています。
早急に前述の緊急工事安全協議会を開催し情報共有、意識の向上を図り、また一から無事故日数を積み上げていきたいと思っています。
せっかく良い社会資本を作ったとしても事故が発生してしまえば台無しです。まずは安全第一、そして良い社会資本を作り、管理し、地域社会に貢献していきたいと考えています。

「無事故100日達成」に関する情報は当事務所のホームページ（<http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/about/katudouhoukoku.html>）までアクセスしてください。

〔2〕 最近の道路関係事業のトピックス

初めまして、本年4月の異動で阪神国道事務所から赴任してきました道路担当副所長の一井です。当事務所での勤務は平成7年以来となります。今後ともよろしく願います。

今回、しらすぎメールに初投稿ということで何を書くか悩みましたがとりあえず、最近の

トピックス的なことを2件報告させていただきます。

まず1件目は、JICAが主催している「道路及び橋梁にかかるアセットマネジメント」コースの4週間にわたる研修で、インドネシアからの研修生を2日間受け入れました。初日は近畿地方整備局の道路管理課長が講師で道路管理全般の講義を行い、2日目は当事務所が発注している橋梁の点検業務と補修工事の現場に出て、実際の構造物を目の前に、点検や補修のやり方を肌で感じてもらいました。日本では、公共事業予算が減るなか、過去に架設された橋梁の補修、延命化が既に大きな課題となっていますが、インドネシアではこれからということ研修生も非常に興味を持っている様子でした。現場では当初予定していた説明を行う間も無く質問攻めというような状況や、現場の中をあちこちと色々見て回ったりするなど意欲的に勉強されていました。また、昼食も宗教上の理由から鳥肉がダメとか、牛肉がダメ、豚肉がダメと出身地の違いで食べるものに色々制限があるなど、随行されている通訳、コーディネーターの方々の苦勞の一端が垣間見え、当方にとっても色々勉強になる二日間でした。

2件目は、トンネルの貫通式の話です。今年度末の供用を目指し工事を進めている姫路北バイパスの石倉トンネルの貫通式が11月5日に執り行われました。貫通式そのものは工事業者である(株)竹中土木の主催で行われ、発注者の当事務所と、工事に大変ご協力をいただいた石倉、下伊勢の両自治会の会長さんにご出席をいただきトンネルの貫通を祝いました。私が赴任した4月時点ではまだトンネルの掘削にもかかっておらず、これで本当にバイパスの供用が出来るのかと心配しておりましたが、工事業者や各関係者の努力によりやっとここまでこぎ着けました。残る工事については、工程的な余裕もなく、また、関係機関等との調整も色々残っているなど、課題が山積で非常に厳しい状況ではありますが、このトンネルの貫通を一つのターニングポイントとして、発注者、受注業者一丸となって年度末の供用に向け、工事に邁進したいと考えております。

※詳細については、以下のホームページをご覧ください。

研修生受け入れ

http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/about/katudouhoukoku/20101026_1027.pdf

※このメールはこれまでに姫路河川国道事務所にかかわりを持たれた方や応援をいただいた方などを対象にお送りさせていただいております。

このメールの今後の配信を希望されない方は、件名に「配信停止」とご記入のうえ、下記のメールアドレスにご連絡をいただくか、下記URLから登録解除をお願いします。

メールアドレス <mailto:otayori-himeji@kkr.mlit.go.jp>

配信停止URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/scripts/himeji/cancel/form.php>

```
#####  
#  
# 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 #  
# 670-0947 姫路市北条1-250 #  
# TEL079-282-8211 FAX079-222-5841 #  
# #  
# 姫路河川国道事務所ホームページ「話そうはりま」 #  
# URL http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/ #  
# MAIL mailto:otayori-himeji@kkr.mlit.go.jp #  
# #  
#####
```